

No. 756

下町の夏 —東京—

102万

夏の風物詩、朝顔市とほうづき市が東京の下町で始まりました。
入谷の鬼子母神境内の歩道は朝顔一色、成育が良く、植段も昨並通りとあって、いつもながらにぎわいでした。
浅草、浅草寺のほうづき市も、夏の詩情を求める人が集まり、伝統的な下町情緒をかもしだしていました。

番狂わせ！

—タニノハローモアに栄冠
第35回日本ダービー—

210万

マーチスかタケシバオーか、参議院選挙とかさなった第35回日本ダービー。
7月7日、東京競馬場に16万人の大観衆を集め、関東、関西のサラブレッド19頭が出走しました。
距離2400メートル、ダッシュよく飛びだした関西の伏兵タニノハローモアが終始トップを切り、直線で追走したタケシバオーに5馬身の差をつけてそのままゴール。一着賞金1800万円を獲得し、見事初優勝を飾りました。
この日の売り上げ54億円を突破、入場人員と共に新記録をくめたたなばたダービーでした。

今週の焦点

良識への審判は
—参議院選挙—

289万

投票率68.94%、第8回参議院選挙は、昭和25年第2回選挙につぐ好成績でした。
しかし、はたして国民の政治への関心は深かったでしょうか——。
自民党2議席、社会党はなんと8議席を失なったのに対し、タレント候補、民社、公明、共産は大きく伸びました。既成の政治に対する国民の不信がこの結果をもたらしたといわれています。
自民党公認候補でありながら自民党をきびしく批判、攻撃するタレント候補、組織も準備もないブラウン管の人気者の当選、今回の参議院選挙は政治に多くの考えさせられることを残して終りました。